

令和4(2022)年度の教育活動等に関する学校評価

教育目標：1)保育内容の充実、2)大学・地域との連携、3)幼稚園運営の強化

九州女子大学附属折尾幼稚園

No.	基本目標	【業務事業】 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	保育内容の充実	[保育のスキルの向上] 様々なテーマに合致する園内研修の実施	園内・園外研修並びに計画的研修（個人研修）や附属3園合同の研修会、教育課程の見直しを行うことにより、保育力を高めながら今の社会情勢や子どもたちに沿った保育を展開していった。個人研修においては、各自で目標に合った研修会へ積極的に参加し、学びを他の職員に伝え園全体の質の向上を図るように努めた。	オンライン研修などであっても、時間を取ることの難しさがある中で、学びの充実がなされている。園全体で、共通理解もされているとのことで、今後も続けていって欲しい。
2		[体験型保育の充実] 園の特色を生かした教育課程の編成	年間を通して野菜の栽培や収穫して食して素材そのものの味を知り、芋の苗植え・収穫・焼き芋大会を行い、田植え・稲刈りからの脱穀を体験し、掘ったお芋を使っての「お芋ご飯」を作り食育に繋げることができた。3学期には全園児でのマラソンを行い、体力向上・持続力を目指している。	自然の中での関りなど、非常に良い経験が出来ている。非日常的なことを知るきっかけとなっていること、プラスの経験をしているので評価している。
3	大学・地域との連携	[地域の福祉施設等との連携] 園行事への参加、および地域団体との交流の促進	今年度も、コロナウイルス感染症の影響により、老人介護施設への慰問が出来なかった。勤労感謝の日には、近隣の消防署や警察署などへ訪問をさせていただいた。 地域の信頼と理解を深め、開かれた幼稚園であり続けるよう職員一丸となって繋げていきたい。	則松市民センターとの地域情報交換（ネットワーク会議）に参加され、地域との連携がとれている。地域の信頼と地域を盛り上げることは大事なことだと思うので、良い関係性を築いていけることで期待できる。
4		[大学・地域のイベント等への参加] 大学・地域のイベント等への参加による幼稚園の理解促進	今年度も、コロナウイルス感染症の影響により地域の行事イベントである「おりお祭り」が開催されず参加が出来なかった。折尾歴史資料館の子育てサークルに参加した。「折尾幼稚園の先生とあそぼう」のテーマで、職員と地域未就園児さんが楽しく過ごし幼稚園を知っていただくきっかけとなった。	子どもたちを真ん中において、一生懸命にされていることが伝わってきた。いろいろな業務があるのに笑顔で接して下さることが有難い。
5		[大学教員との連携] 大学教員との連携・協働による教員の質の向上	大学教員と連携を図り、専門的知識を学び保育の質の向上に努めた。また、様々な企画についてお誘いいただき、子どもたちの知的好奇心の学びへと繋がっていた。	大学附属の幼稚園の良さをよく捉えられている。大学の先生から学ぶ機会など中々ないので、専門的な話を聞けることは良い環境のなかにあると感じた。

6		<p>[学生との連携] 学生企画のイベント等への参加、および学生とのコラボ企画による園のアピール</p>	<p>絵画造形教室では、学生さんのアイデアがたくさん詰まった企画を、子どもたちが楽しく伸び伸びと行う様子が客観的にみられた。 ラグビー体験・テニス教室など日頃関わる機会が少ないお兄さん・お姉さんと一緒にする体験は、子どもたちにとってとても新鮮で楽しみの行事となっている。</p>	<p>学生さんにとっても、子どもたちにとっても交流はとてもよい。保育士を目指す人にとっては、価値のある交流だと思う。</p>
7		<p>[未就園児教室の充実] プログラムの提供、園行事への参加促進、ならびにクラス見学等への実施</p>	<p>毎年3月には次年度の計画を配布出来るように1月ごろから見直しや新規計画の検討を行い計画している。コロナ禍、少子化の中であるからか、ここ3年は参加人数が半数近く減少している。園行事への参加やクラス見学は出来なかったが、発表会の踊り3曲を披露することが出来、園児との距離がちかくなったのではないかと思った。次年度は月1回に変更して行ってみようと思う。</p>	<p>親子で貴重な体験や、一緒に楽しめていいと思う。幼稚園の先生方の雰囲気も分かり、ファンが増えるのではないかと思う。 親子共々不安があっても、月1回でも先生にお会いできて、小さな不安も話せるので解消できる。</p>
8	幼稚園運営の強化	<p>[ホームページ等による広報活動の推進] ネット社会を活用した情報発信により、保護者の関心を生み出し未就園児教室に参加を促し、信頼関係を構築し入園に繋げる。</p>	<p>ホームページに年間計画表を提示し、参加の申し込みを電話だけでなく、ホームページからでも申し込み出来るようにしている。また、ホームページでは園内であった行事などを載せ、興味をもって頂けるように、写真も3枚から6枚にして見やすいよう心掛けている。</p>	<p>アプリなどで、行事の写真が見れ、待ち遠しい気持ちになる。 ホームページでは、逐一報告があるので安心・信用ができる。</p>
9		<p>[幼小連携プログラムの策定] 幼小連携を強化し、幼稚園の存在をアピールする</p>	<p>今年度もコロナ前のような小学校訪問見学が出来ずに小学校との連携が出来なかった。 学年末に行う、連絡会では個々の園児の様子をお伝えしスムーズな小学校入学へ向けての引継ぎを行っている。</p>	<p>則松市民センターとの交流はあるが、コロナ禍で則松小学校との交流が出来ずにいるので、様子を見ながら復活していきたい。先生方の頑張りや努力が分かり・知って素晴らしい幼稚園が近くにあることを知りこれからも連携へと繋げていき、また連携の大切さを感じる事となった。</p>